



第一部 講演
「交通事故や脳の病気の後遺症といわれる
高次脳機能障害ってどんなの？」

講師 村井俊哉 氏

第二部 講演
「高次脳機能障害 家族目線から」

講師 柴本 礼 氏

第三部 座談会
「地域で安心して暮らすということ」

村井俊哉氏 柴本 礼氏 大嶋孝司

(京都市地域リハビリテーション推進センター
地域リハビリテーション推進係長)

展示・体験コーナー

「電動車椅子に乗ってみよう」

「自助具を使ってみよう」

「クッションの大切さを知ろう」

「高次脳機能障害のある方を支援している事業所の活動報告」

第29回 京都市地域リハビリテーション交流セミナー
～高次脳機能障害のある方が地域で暮らすために～

平成27年
12月4日(金)

13:30 開場
14:00～16:35 講演
17:00 閉場

場所：京都産業大学
むすびわざ館
2階ホール

定員：300名 参加費：無料 申込み：不要

* 手話通訳、要約筆記の必要な方は、11月20日(金)までに
下記の問合せ先までお知らせください。

問合せ先：京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課
TEL 075-823-1666 ・ FAX 075-842-1541

主催：京都市(地域リハビリテーション推進センター)

後援：一般社団法人京都府医師会、一般社団法人京都府理学療法士会、一般社団法人京都府作業療法士会、京都府言語聴覚士会、
公益社団法人京都府介護支援専門員会、一般社団法人京都社会福祉士会、公益社団法人京都市身体障害者団体連合会、
公益財団法人京都新聞社会福祉事業団、NHK 京都放送局、KBS 京都、J:COM 京都みやびじょん、京都市教育委員会

《地域リハビリテーション交流セミナーとは?》

地域リハビリテーション交流セミナーとは、障害のあるなしに関わらず、市民の方が相互に支え合い安心して暮らせる環境づくりを目的に、毎回テーマを変えて実施しているセミナーです。

京都市は、平成27年7月から、「高次脳機能障害のある市民のための専門相談窓口」として、地域リハビリテーション推進センター内に「京都市高次脳機能障害者支援センター」を新たに設け、高次脳機能障害のある市民の支援に取り組んでいます。

そこで、今回の交流セミナーにおいては、メインテーマを『高次脳機能障害』とし、幅広い高次脳機能障害の診断・治療・研究を行っておられる医師から、高次脳機能障害についてお話しいただき、また、高次脳機能障害のある夫と暮らしておられる御家族からは、発症から社会復帰までの経過や見守ってこられた御家族としての思いを語っていただくとともに、これらの方々による座談会を行います。これらを通じて、広く高次脳機能障害についての理解を深めていただくことにより、高次脳機能障害のある方が暮らしやすい地域づくりを目指します。

なお、当日は、このほか、電動車椅子、自助具、クッションの体験コーナーと高次脳機能障害のある方を支援している事業所の活動展示コーナーも設けています。

多数の方の御来場をお待ちしております。

《講師紹介》

村井 俊哉 氏

京都大学大学院医学研究科 精神医学 教授

昭和41年大阪府生まれ。平成3年京都大学医学部卒、京大病院、大阪赤十字病院、北野病院（大阪市）で精神科医として勤務。平成10年京都大学大学院医学研究科修了、医学博士。マックスプランク認知神経科学研究所、京都大学医学部附属病院助手などを経て、平成21年から、京都大学大学院医学研究科・精神医学教室・教授。専門は臨床精神医学全般、神経心理学、神経画像学、高次脳機能障害の臨床。

著書に『メンタルヘルスを学ぶ』（ミネルヴァ書房）など、訳書に『現代精神医学原論』（みすず書房）などがある。



柴本 礼 氏

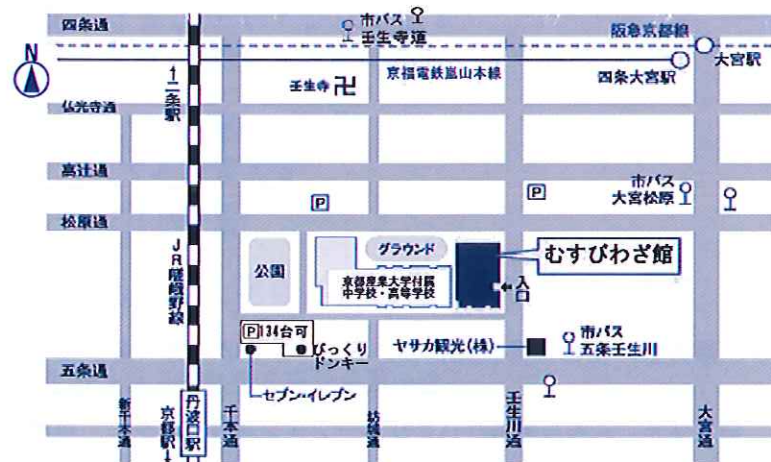
慶應義塾大学文学部卒業、イラストレーターとして活躍中。

平成16年に夫がくも膜下出血で倒れ、以降、高次脳機能障害となる。現在、「高次脳機能障害者と家族の会」と「日本脳外傷友の会」に所属。自身も平成25年に「高次脳機能障害 コウジ村」という家族会を立ち上げる。講演会活動やブログなどを通して高次脳機能障害についての普及・啓発を行っている。

著書に、『日々コウジ中』『続・日々コウジ中』（主婦の友社）があり、夫が退院しリハビリを経て就労につくまでの6年間、全力で支える家族の日々が赤裸々に、そしてユーモラスに描かれている。



《会場案内》 京都産業大学 むすびわざ館 2階ホール （京都市下京区中堂寺命婦町1-10）



・市バス

大宮松原	徒歩約 5分
五条壬生川	徒歩約 3分
壬生寺道	徒歩約 10分

・JR 丹波口駅

徒歩約 7分

・阪急電鉄 大宮駅

徒歩約 11分

・京福電鉄 四条大宮駅

徒歩約 10分

駐車場・駐輪場はありませんので、公共交通機関等を御利用いただくか、近くの有料駐車場（P参照）を御利用ください。